

目 次

I 普及に移し得る成果

- 1 浮き楽栽培法における水稻育苗培土を利用したリーフレタス栽培（栽培技術研究部） 1
- 2 小麦栽培における硫安や尿素の 3 月上旬重点施肥による多収技術（栽培技術研究部） 3
- 3 養液土耕栽培における夏秋トマト「りんか」の腋芽栄養診断（生産環境研究部） 5
- 4 小水路（ひよせ）の設置による生物多様性保護（生産環境研究部） 7
- 5 高温期の夜間短時間冷房によるバラの効率的切り花生産（栽培技術研究部） 9
- 6 モモの樹体ジョイント仕立てによる早期成園化と栽培管理の省力化（果樹研究部） 11

II 技術指導に参考となる成果

- 7 小麦が増収する被覆尿素肥料を用いた全量基肥条別施用技術（栽培技術研究部） 13
- 8 抵抗性品種「みねはるか」と「ゆめまつり」のいもち病抑制効果（生産環境研究部） 15
- 9 複合抵抗性品種「ゆめまつり」のイネウンカ類密度抑制効果（栽培技術研究部） 17
- 10 水耕ネギの発芽不良対策（生産環境研究部） 19
- 11 鉄コーティング種子を用いた直播栽培における石灰窒素の活用（生産環境研究部） 21
- 12 「イエローベル」の収穫後の着色促進は 15℃が良い（果樹研究部） 23
- 13 県中北部におけるナン樹体ジョイント仕立て用の「幸水」1 年生苗木の生育促進法（果樹研究部） ... 25
- 14 9～10 月の収穫割合が高いレモン「マグレーン」の特徴（果樹研究部） 27

III 開発中の主要技術の紹介

- 15 半促成トマト栽培でのアセチル化グリセリド（AG:ベミデタッチ乳剤[®]）を利用したタバココナジラミが媒介する
トマト黄化葉巻病の抑制（生産環境研究部） 29